

東日本大震災復興関連事業チェックシート  
(平成23年度第3次補正予算)

(厚生労働省)

事業名	国民健康保険の保険者等への支援 (後期高齢者医療広域連合電算処理システムの復旧)		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	高齢者医療課	横幕 章人		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者の医療の確保に関する法律第102条		関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	震災により被害を受けた後期高齢者医療広域連合電算処理システムを復旧することにより、被災者が安心して医療等を受けられるために必要な基盤整備を行い、後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るために必要な経費について、補助するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①震災により被害を受けた広域連合電算処理システムの復旧 (広域連合電算処理システム：広域連合及び市区町村での後期高齢者医療制度に関する資格、給付、賦課及び収納等の事務処理を行うためのシステム) ・破損した広域連合電算処理システムや回線等を再構築。 ・市町村システム(住基や税のシステム等)の破損により、広域連合電算処理システムに影響が発生することへの対応。 ②震災に伴う各種特例処理等の保険者事務を円滑に実施するための機能追加 (補助率10/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
23年度予算額 (単位：百万円)	当初	第1次補正	第2次補正	第3次補正	計		
	—	—	—	634	634		
成果目標 (アウトカム)	成果指標	単位	目標値		活動指標	単位	23年度活動見込
	復旧等に対するシステム対応項目数	システム対応項目数	23年度	(年度)	活動指標 (アウトプット) ※上段( )書きは予算措置の累積に係る見込み	補助額 (百万円)	( ) 634
単位当たりコスト	復旧等に必要な事業費の1広域連合あたり経費 365(千円/項目数/箇所数) ※国庫補助額ベース			算出根拠	(国庫補助額 ÷ システム対応項目数 ÷ 広域連合数) 633,900 千円 ÷ 37 ÷ 47 = 365 千円		
事業所管部局による点検							
項目				内容			
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方の整合性がとられているか。				当該システムの復旧は、被災者が安心して医療等を受けられるために必要な基盤整備であり、提言や基本方針に示されている諸原則や施策の考え方に合致している。 復興への提言 第2章(2)①被災者救援体制からの出発 復興の基本指針 5(2)①地域の支え合い(iii)			
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。				当該システムの復旧は、被災者に対する窓口業務体制を確保する観点から、被災地の広域連合から強い要望があり、かつ、被災者の生活や健康を守ることを最優先の課題として講じた、一部負担金等の免除や保険料の減免といった医療保険制度上の各般の措置を円滑に実施するために必要な機能追加を実施するための事業であり、優先度は高い。			
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。				制度の円滑な運営のためには、システムを復旧し、被災者に対する窓口業務体制を確保することが必要不可欠である。 なお、被災者の生活や健康を守ることを最優先の課題として講じた、上記の医療保険制度上の各般の措置を円滑に実施するために必要な機能を追加することによって、効果的な実施を図る。			
費用対効果や効率性の検証が行われたか。				復旧にかかるシステムのプログラム構成については、出来る限り簡便かつ効率的なものとなるよう、外部のシステムコンサルタントによる検証を実施している。			
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。				当該システムについては、全国共通のシステムを効率的に開発し、保険者である広域連合に提供するため、システム開発に係る業務を国民健康保険中央会に委託して実施しており、復旧についても国の管理の下、国民健康保険中央会にて統一行的に行うこととしている。			
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。				当該システムを運用している広域連合は、市町村にて管理・運営している住基や税システム等から、必要な情報を授受することにより、業務を行っているため、システムの復旧にあっても、被害状況が個々に異なる市町村のシステムの復旧事業の内容や進捗状況を考慮した上で、計画的に実施している。			
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。				事業の実施主体である国民健康保険中央会と密に連携を図ることにより、事業の迅速な着手・執行及び進行管理等が適切に行える体制を確保している。			

注1. 「活動指標(アウトプット)」欄の「活動見込」については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算(第2次補正予算を含む。以下同じ)若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で累積の見込みを記入すること。

注2. 「単位当たりコスト」欄については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で「(23年度1次補正 × ×円/ )」などと記入すること。

注3. 「内容」欄には、すべての点検項目毎に点検の結果及び方法、これらの客観的な根拠について具体的に記入すること。